

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公開番号】特開2014-69643(P2014-69643A)

【公開日】平成26年4月21日(2014.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2014-020

【出願番号】特願2012-215871(P2012-215871)

【国際特許分類】

**B 6 2 K 11/04 (2006.01)**

【F I】

B 6 2 K 11/04 C

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月9日(2015.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

サブフレーム 4 は、メインフレーム 1 の前部から下方に延出した第 1 サブフレーム片 1 5 と、第 1 サブフレーム片 1 5 に前端部が連結されてエンジン E の側方においてエンジン E の前方から後方にまで延びてメインフレーム 1 の後部に連結された第 2 サブフレーム片 1 7 とを有しており、メインフレーム 1 を補強する。第 2 サブフレーム片 1 7 の前後方向の中間部は、前記第 1 エンジン取付部 M 1 が設けられている。第 1 エンジン取付部 M 1 には、エンジン E のシリンダブロック 2 6 の後部が取り付けられる。第 2 エンジン取付部 M 2 は、スイングアームブラケット 1 6 の上端部に設けられ、エンジン E の後端上部が取り付けられる。第 3 エンジン取付部 M 3 は、スイングアームブラケット 1 6 の下端部に設けられ、エンジン E の後端下部が取り付けられる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

メインフレーム 1 の前端部 1 a と第 1 サブフレーム片 1 5 の上端部 1 5 a の連結は、第 1 サブフレーム片 1 5 に設けたボルト挿通孔（図示せず）に、先端部に雄ねじが形成されたボルト 6 0 を挿入し、メインフレーム 1 に設けたねじ孔（図示せず）に締め付けることでなされる。第 1 サブフレーム片 1 5 の下端部 1 5 b と第 2 サブフレーム片 1 7 の前端部 1 7 a との連結は、第 2 サブフレーム片 1 7 に設けた第 1 ボルト挿通孔 6 8（図 3）に、ボルト 6 2 を挿入し、第 1 サブフレーム片 1 5 に設けたねじ孔（図示せず）に締め付けることでなされる。メインフレーム 1 の後端部 1 b と第 2 サブフレーム片 1 7 の後端部 1 7 b との連結は、第 2 サブフレーム片 1 7 に設けた第 2 ボルト挿通孔 7 0（図 3）に、ボルト 6 4 を挿入し、メインフレーム 1 に設けたねじ孔（図示せず）に締め付けることでなされる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【 0 0 3 1 】

制振手段 7 2 は、制振手段取付部 7 4 のねじ孔 7 4 a に螺合されるボルト 8 4、制振手段取付部 7 4 とボルト 8 4 との間に介在されるワッシャ 8 6、およびワッシャ 8 6 の外周に装着されてボルト 8 4 の頭部 8 4 a を覆うゴム部材 8 8 を有している。ゴム部材 8 8 は、高い減衰性を有する弾性体からなる高減衰性ゴム（減衰部材）で、例えば、低弾性高減衰ゴム（High Damping Rubber）、ポリノルボルネン系の高減衰ゴム材料等からなる。ゴム部材 8 8 は、有底の筒状で、ワッシャ 8 6 に係止される基部 9 0 と、ボルト 8 4 の頭部 8 4 a を覆う頂部 9 2 とを有している。基部 9 0 には、ワッシャ 8 6 が係止される環状の溝 9 0 a が形成されている。ボルト 8 4 の頭部 8 4 a とゴム部材 8 8 の頂部 9 2 との間には、隙間 G が存在している。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】

